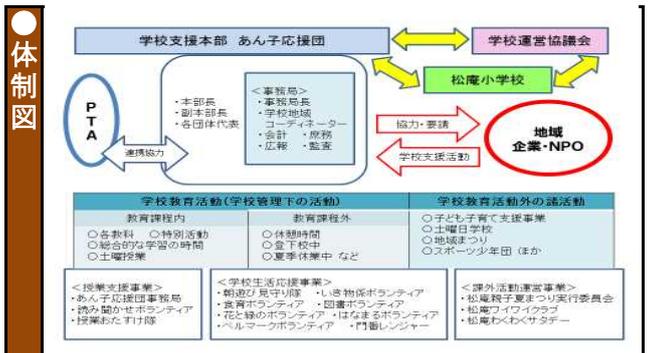


東京都杉並区	●活動名	●関係する学校名
	松庵小学校学校支援本部 あん子応援団	杉並区立松庵小学校

協働活動開始年度	平成 21 年度	関係学校数	1 校	のべ学級数	17 学級	のべ児童・生徒数	450 人
活動区分	学校支援活動	—		地域人材育成			
	地域未来塾	—		外部人材を活用した教育支援活動			
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		地域学校協働活動推進員等の数		配置人数		
	1人		—		9人		
学校運営協議会	指定・設置日		ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	有	
	平成29年10月1日設置		—	393人	—	—	
参考URL	anko-ouendan.sblo.jp						

●連絡先 杉並区教育委員会 学校支援課 学校支援係 ☎ 03-5307-0756



●活動の概要・経緯 「子供たちの学校生活の充実発展のために」という共通の目標のもと、松庵小学校の教育活動や学校運営をサポートする応援団として、地域の人々、組織・団体、PTAなど多様な人材が連携し活動している。地域ぐるみで子供の健全育成に取り組む歴史は古く、松庵親子夏まつりでは40年、松庵ワイワイクラブは24年の思い・実績を現在につないでいる。平成21年に設立した松庵小学校支援本部の事務局が活動の中心となり、「あん子応援団」としてボランティアチームを統括している。学校経営を支援する「学校運営協議会」と学校運営支援・実働部隊としての「あん子応援団」が両輪となり教育活動を推進している。学校・地域コーディネーターが学校、各組織・団体との調整役を担い、時には活動同士をつなげてダイナミックに展開している。活動は①授業支援事業、②学校生活応援事業、③課外活動運営事業の三つを柱としている。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①授業支援事業:キャリア教育、国際理解教育、食育、読み聞かせなど、学年のニーズに合わせた講師・ボランティアを調整。土曜授業ではワイワイキャンプ、科学の祭典など防災・科学的体験ブースを設営し、地域・企業・NPOなど多彩な人材と運営。
- ②学校生活応援事業:門番レンジャー、朝遊び見守り、いきもの係、図書、花と緑、食育装飾、ベルマークなど、学校生活を安全で充実させるための環境を整備。
- ③課外活動運営事業:わくわくサタデー、夏まつり、花まるボランティアなど、地域の伝統文化継承、幅広い年齢の交流の場づくり、卒業生による地域貢献の機会。

【実施に当たっての工夫】

- 学校運営協議会での活動報告・協議による、地域住民の学校運営参画。
- 年間指導計画に基づき、担当者と早い時期に相談、情報の共有化。
- 新年度最初の土曜授業ではじまりの集い(ハレルヤ集会)を開き、皆が楽しんで活動している様子を子供・大人に紹介し、地域一体感の醸成と新たな参加者の裾野を広げる。年度末の土曜授業では感謝の集いを開き、「ありがとう」の気持ちを伝え合う機会を設定。
- ボランティアは年度ごとの登録とし、できる時にできる範囲で負担なく、誰もが活動に参加可能とする。
- 地域子育てネットワーク、地域教育連絡協議会、震災救援所運営協議会、町会など既存の組織・団体との相互連携を強化し、地域総がかりでの活動となる仕組みの構築。通信の発行、ブログ掲載により活動への理解を促進。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

学校とコーディネーターの打ち合わせにより、授業のねらいに適した講師・ボランティアを確保でき、連絡役はコーディネーターが担うことで教員は子供の指導に専念できた。子供たちは多様な人とのコミュニケーションを経験し、地域への理解と愛着を深めるとともに、地域に守られ生活していることを実感している。地域の大人たちは、学校支援活動を通して子供たちとふれ合うことで、生きがいを見付けたり、自己有用感を更に高めたりした。地域住民や既存の各団体は協働活動により、互いが出会う機会を得て、「子供の幸せ」という共通目標のもと、より一層関わりを深め、活動を持続・発展させながら安心感のあるコミュニティ創りにつなげている。

● その他

休みの学校を舞台に、子供が地域の中で多様なことに挑戦・体験できる機会を提供しようと、平成15年よりわくわくサタデーを企画・運営。授業や地域行事のない土曜日に工作、料理、伝統文化、スポーツ教室等を開催。冬には300人分の防災用大鍋で作る鍋の会も毎年好評を得ている。



わくわくサタデー
 子供たちが準備した野菜や
 子供たちのおいしく煮込む



わくわくサタデー
 年代の大人と子供が飯盒を炊く